

鳥取 YEG 通信

TOTTORI YOUNG ENTREPRENEURS GROUP



発行: 令和2年10月15日
鳥取商工会議所青年部
広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

10

October 2020

令和2年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 荒田潤之介
株式会社 千代田工務店

美しい秋の声が聞こえ、食べ物がおいしい季節となりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症は予断を許さない状況です。気を緩めず、感染には十分気を付けていただきながら経済活動を進め、自分たちにできることを見極め、少しでも早くこの危機を脱しましょう。

さて、鳥取商工会議所青年部は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を年度当初4月から9月まで自粛期間としていましたが、10月より満を持して活動再開となりました。鳥取県商工会議所青年部連合会においても8月下旬にWeb会議にて定期総会を開催しており、今秋から青年部活動が活発化することを願っております。

今年度のリスタートの位置づけである10月例会は、現状を鑑みてリモート主体で開催しました。

遠隔ではありませんが、会員の皆さまと一堂に会することができ大変嬉しく思います。

当日は、商工会議所についての紹介動画を上映し、目的・理念を再確認しまし

た。想いを再度共有すると共に、ご来賓の方々からビデオメッセージなどを通して熱い情熱とエールをいただきました。今年度新入会員の紹介も行き、心強い新しい仲間も加わり、愛する地域の商工業の発展のため、さらなる活動に邁進していきたく思います。

当会の各委員会活動も、徐々に活発になっていきます。直近では、2つの事業を予定しております。

一つ目は、昨年度制作しました『麒麟獅子の紙芝居』の保育園への贈呈式です。日本文化遺産にも認定されたストーリーの一つでもある麒麟獅子に幼少期から触れ合うことで、郷土愛を育んでいただきたいと思っております。

もう一つは、私たちの先輩方が築き上げたコカ・コーラポトラーズジャパンスポーツパーク（鳥取県立布勢総合運動公園）内の『桜の園』にある因幡千本桜の植樹事業です。今年度は枯れるなどで本数が減った桜を千本に復元する5ヶ年計画の最後の節目の年になります。

詳細については事業実施後、皆さまへご報告させていただきますと思います。10月になり、残すこと半期となりましたが、責任世代として新型コロナウイルスに屈することなく青年らしく前を向き、愛する地域の商工業発展のため、そして将来を担う子供たちの未来を築いていくために全力を尽くす所存でありますので、改めて活動へのご理解ご協力をお願いいたします。

昨年度の政策提言が前進へ

昨年度、共創提言委員会が県に提出した提言書のひとつに、「日本一の星の美術館設置」がありました。これは、以前県立美術館設置計画があり、長年にわたり放置されてきた鳥取少年自然の家跡地（桂見）を整備し、星取県の滞在型観光の拠点とする提言内容でした。この度鳥取県は、松保地区の皆さまの要望書、そして鳥取商工会議所青年部の提言書を受け、現地の整備を行うとのことでした。具体的な活用方法は今後協議を行い決定していく方針ということで、当会も地域の皆さまと一緒に活動を継続していきたいと考えています。

近年、鳥取商工会議所青年部は毎年、鳥取県・鳥取市に提言書を提出しています。我々の目標は提言書を提出することではなく、実現のために行動することであり、今後もさらなる鳥取の発展と飛躍のため活動を続けてまいりたいと思っております。



提言書提出



提言掲載 9月2日(水)日本海新聞

ビジョン推進特別委員会 松島 新太郎
(令和元年度共創提言委員会 委員長)

